

お知らせ

■同時発表先：島根県政記者会、出雲市政記者クラブ、米子市政記者クラブ、松江市政記者クラブ

大型水鳥類が舞う斐伊川水系の魅力を活かした 地域づくりを進めます

= 第10回 斐伊川水系生態系ネットワーク協議会^{※2}を開催します =

斐伊川水系には豊かな水辺と水田地帯が広がっており、日本を代表する大型水鳥類が安定的に生息することができる環境を有したステキな地域です。

この環境を活かした、大型水鳥類をシンボルとした生態系ネットワーク^{※1}の形成による魅力ある地域づくりを目指して、平成27年度に『斐伊川水系生態系ネットワーク協議会^{※2}』を設立しており、多様な主体と連携した環境保全や地域振興に向けた取り組みを行っています。

この度、第10回の協議会を開催し、昨年度の取組状況の報告と今後の具体的な取組の進め方等について議論します。

※1「生態系ネットワーク」とは・・・参考 別紙—1

※2 正式名称：斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

【開催概要】

- ◆とき：令和5年7月24日（月）10：00～12：00
- ◆ところ：松江市 島根県立産業交流会館（くにびきメッセ） 多目的ホール
- ◆内容：別紙—2「議事次第（案）」参考
- ◆参加予定団体：国、県、市、各種関係団体等

※これまでの協議会の詳細については、国土交通省出雲河川事務所のウェブサイトをご覧ください。

リンク先：<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/iinkai/ryuiki/econet/index.html>

【取材について】

- ◆取材を希望される方は、事前に以下の問合せ先までご連絡ください。

<問合せ先>

斐伊川水系生態系ネットワーク協議会 事務局

■国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長：山形 浩一（やまがた こういち）

（担当）流域治水課長：北川 克治（きたがわ かつじ）

電話番号：0853-20-1761（流域治水課直通）

問合せ時間：平日9：00～17：00





生態系ネットワーク とは

生物多様性が保たれた国土を実現していくために、保全すべき自然環境や優れた自然条件を有している地域を核として、これらを有機的につないでいく、それが生態系ネットワークです。生態系ネットワークの形成は、生物多様性を保つだけではなく、社会・経済面での様々な効果を地域にもたらします。

この取組は、エコロジカル・ネットワークとも呼ばれています

生きものの生息する環境が、地理的に連続している場合のほか、渡り鳥の飛来地のように、地理的に連続していない場合も、ネットワークに含まれます。

第10回 斐伊川水系 生態系ネットワークによる
大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

日 時：令和5年7月24日（月）
10：00～12：00
場 所：くにびきメッセ 多目的ホール

議 事 次 第（案）

1. 開 会

2. あいさつ

3. 規約の改正について

4. 議 事

(1) 斐伊川水系生態系ネットワーク全体構想について

(2) 活動状況等報告

① 専門ワーキング報告および、水鳥プロジェクトの活動報告

② 協議会委員等の活動状況報告

(3) 斐伊川水系生態系ネットワーク形成に向けた取り組みの
将来像について（素案）

(4) その他、情報提供

5. 閉 会